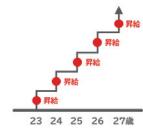
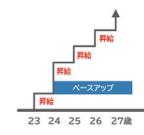


自分自身にかかるお金を考える・暮らしとお金

1. 授業のねらい

- 1 一人暮らしや社会人1年目で必要となるお金をシミュレーションする中で、どのようなことにお金がかかるのかを把握することができる。
- 2 住宅ローンは「変動金利」と「固定金利」があり、金利により支払額に差が出ることや抵当権によって家を失う可能性があるため、返済計画を慎重に立てる必要があることを理解することができる。
- 3 お金に関わる様々な契約があることを理解するとともに、契約は自由に結べる一方で、契約によってトラブルが発生する場合があることに気づくことができる。

2. 主な授業展開

学習活動と内容	● 生徒の活動
<p>1. 自分の「ライフプラン」やどれくらいのお金が「ライフプラン」に必要なかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「将来やりたいこと」を考え、ワークシートに書く。その後「ライフプラン」の中に、一人暮らし、結婚、入院といった支出の大きい「ライフイベント」が含まれていることに気づく。 	<p>① 事前に「ライフイベント」を事前に設計しておく MUFJ</p> <p>人生には“ライフイベント”という、多くのお金が必要になるタイミングがあります</p> 
<p>2. 一人暮らしにかかる1ヶ月分のお金を想像し、生活費がどのくらいかかるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一人暮らしにかかる1ヶ月分のお金の項目と金額を考えて、ワークシートに書く。 	<p>② 自分自身にかかるお金を考える 1人暮らしの生活費 MUFJ</p> <p>一人暮らしにかかる1ヶ月分のお金を想像して、項目と金額を書いてみましょう</p> 
<p>3. 収支のバランスについてシミュレーションする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会人1年生をイメージして、ワークシート「社会人1年目の収支表」に取り組む。 	<p>③ 暮らしとお金 収支表を書いてみよう MUFJ</p> <p>社会人1年生をイメージして収支表を書いてみましょう</p> 
<p>4. 生涯年収にたどり着くためにどのような経過をたどるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「定額昇給」や「ベースアップ」等により生涯年収にたどり着くことに気づく。 	<p>④ 暮らしとお金 生涯年収にたどり着くには MUFJ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>定額昇給</p> <p>自分の給料が、ある一定のタイミングで増額されること</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ベースアップ</p> <p>年齢や勤続年数に関わらず従業員全体の給料が引き上げられること</p>  </div> </div>

学習活動と内容

● 生徒の活動

5. 30年前と今のモノやサービスの値段を比較し物価上昇と収入について考える。

- 物価が上昇する一方で、収入は30年前に比べ、減少していることに気づく。

暮らしとお金 金利の違いによる支払額の差 MUFG

4,000万円を35年かけて返済する場合、変動金利と固定金利でそれぞれ総返済額は幾らになると思いますか？

変動金利	固定金利
0.8%の場合	1.5%の場合
約4,568万円	約5,422万円

6. お金に関係する契約について考える。

- お店で買い物をすることでできる「売買契約」や会社のオフィスにお金を払うことでできる「賃貸借契約」、仕事を自分以外の会社にお願する「請負契約」といった様々な契約があることを理解する。

暮らしとお金 契約の種類 MUFG

7. 契約が成立することについて考える。

- 車を購入する場合を例にして契約が成立するタイミングについて考えながら、契約は自由に結ぶことができるものの、一方でトラブルが発生しやすくなることに気づく。

暮らしとお金 契約が成立するタイミング MUFG

THINK 車を買いにお店にきたとして、「このタイミングで契約が成立する」と思ったところで手を挙げてください

- 提示された金額に納得できたので、「買います」と伝えた
- 購入するための契約書にサインをした
- 車の代金を振り込みで支払った
- お店側が、代金が支払われたことを確認した
- 車が納車され、受け取りのサインをした

8. 契約自由の原則とその責任について理解する。

- 当事者同士の自由な意志によって結ばれた契約は、法律に反しない限りその自由を尊重するという原則があり、契約の自由には「締結の自由」「相手選択の自由」「内容の自由」「方式の自由」といった4つの分類があることを理解する。

暮らしとお金 契約自由の原則とその責任 MUFG

契約自由の原則

当事者同士の自由な意思によって結ばれた契約は、法律に反しない限りその自由を尊重するという原則

締結の自由	相手選択の自由
締結するかしないかについては自由に決定することができる	契約を相手相手も自分の意思で決定できる
内容の自由	方式の自由
契約の内容は当事者同士の意思に基づいて決定することができる	どのような形で契約を結ぶのかも自由に決定することができる

お金を貯める 動かす

1. 授業のねらい

- 1 一生の中に3大支出(教育資金、住宅資金、老後資金)があり、その支出に備える必要があることや、物価が上昇しているにもかかわらず収入が減少している現状から、お金を蓄える手段として投資を考える必要があることを理解することができる。
- 2 金融商品の種類を知り、リターンが不確実な金融商品のリスクを減らす「積立投資」「分散投資」「長期投資」があることを理解することができる。

2. 主な授業展開

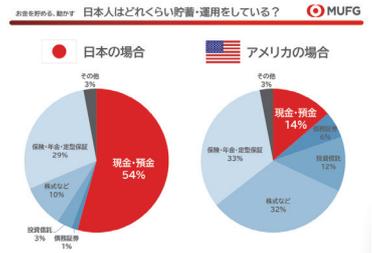
学習活動と内容	● 生徒の活動																											
<p>1. 一生の中での支出にはどのようなものがあるかを考える。</p> <p>一生の中に3大支出(教育資金、住宅資金、老後資金)があり、およそ2億円の支出になることを理解する。</p>	<p>お金を貯める、動かす 人生の3大支出 MUFG</p> <p>3大支出は一般的にどのように蓄えられていると思いますか？考えてみましょう</p>																											
<p>2. 一生の中で3大支出に備えるために投資という観点が必要である理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● モノやサービスの値段に関するワークシートを書き込むことを通して、1991年と今のモノやサービスの値段が異なっていることに気づく。 	<p>お金を貯める、動かす モノやサービスの値段は変わる？ MUFG</p> <p>モノやサービスの値段は一定ではなく、これまで少しずつ上昇してきました</p> <table border="1"> <tr> <th>モノやサービス</th> <th>1991年</th> <th>1991年</th> <th>1991年</th> <th>1991年</th> </tr> <tr> <td>牛乳(1L)</td> <td>205円</td> <td>うどん(外食)</td> <td>413円</td> <td>携帯電話機(大人)</td> </tr> <tr> <td>2022年</td> <td>218円</td> <td>2022年</td> <td>707円</td> <td>2022年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2,000円</td> <td>2022年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4,005円</td> </tr> </table>	モノやサービス	1991年	1991年	1991年	1991年	牛乳(1L)	205円	うどん(外食)	413円	携帯電話機(大人)	2022年	218円	2022年	707円	2022年				2,000円	2022年					4,005円		
モノやサービス	1991年	1991年	1991年	1991年																								
牛乳(1L)	205円	うどん(外食)	413円	携帯電話機(大人)																								
2022年	218円	2022年	707円	2022年																								
			2,000円	2022年																								
				4,005円																								
<p>3. 30年前と今のモノやサービスの値段を比較し、物価上昇と収入について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 物価が上昇する一方で、収入は30年前に比べ、減少していることに気づく。 	<p>お金を貯める、動かす 年度別の収入の状況 MUFG</p> <p>物価が上昇する一方で、収入は30年前に比べ減少している状態</p> <table border="1"> <tr> <th>モノやサービス</th> <th>1991年</th> <th>1991年</th> <th>1991年</th> <th>1991年</th> <th>平均所得</th> </tr> <tr> <td>牛乳(1L)</td> <td>205円</td> <td>うどん(外食)</td> <td>413円</td> <td>携帯電話機(大人)</td> <td>3,081円</td> <td>平均所得</td> </tr> <tr> <td>2022年</td> <td>218円</td> <td>2022年</td> <td>707円</td> <td>2022年</td> <td>4,005円</td> <td>2022年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>前545万円</td> </tr> </table>	モノやサービス	1991年	1991年	1991年	1991年	平均所得	牛乳(1L)	205円	うどん(外食)	413円	携帯電話機(大人)	3,081円	平均所得	2022年	218円	2022年	707円	2022年	4,005円	2022年							前545万円
モノやサービス	1991年	1991年	1991年	1991年	平均所得																							
牛乳(1L)	205円	うどん(外食)	413円	携帯電話機(大人)	3,081円	平均所得																						
2022年	218円	2022年	707円	2022年	4,005円	2022年																						
						前545万円																						
<p>4. 銀行に預ける金利について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 銀行にお金を預けるワークを行うことを通して、銀行に10万円を5年間預けた時に返ってくるお金が少ないことに気づく。 	<p>お金を貯める、動かす 金利を計算してみよう MUFG</p> <p>銀行に10万円を5年間預けたらいくらになるか計算してみましょう</p> <p>1年間の金利を0.002%とすると</p> $100,000円 \times (1+0.00002) \times (1+0.00002) \times (1+0.00002) \times (1+0.00002) \times (1+0.00002) = 5年後の金額$																											

学習活動と内容

● 生徒の活動

5. アメリカと日本のお金の運用の仕方の違いを考える。

- アメリカでは、株式や投資によって、日本の約2倍の資産を増やしていることに気づく。



6. 金融商品の種類を知る。(株式、債券、投資信託など)

- 株式(配当)、債券(利息)、投資信託(運用)等を理解する。



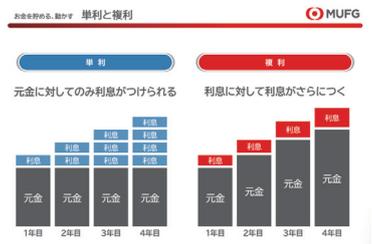
7. 金融商品におけるリスクとリターンについて考える。

- リターンが不確実な金融商品のリスクを減らす方法として「積立投資」「分散投資」「長期投資」があることを理解する。



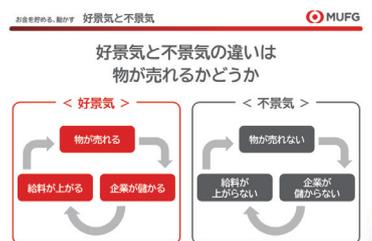
8. 「長期投資」のメリットである複利について考える。

- 長期投資をすると利息が増え、複利の場合はその利息にさらに利息が付くことに気づく。



9. 好景気と不景気について考える。

- 好景気の場合、物がよく売れるため企業が利益を上げ、給与が増え、使えるお金が増加する。そして、さらに物が売れるようになる。このサイクルの逆が不景気であることに気づく。
- 不景気で銀行が破綻しても、1000万円までの元本とその利息については払い戻しが保証される「ペイオフ制度」があることを理解する。



お金や金融の動き・経済の仕組みを把握する・経済は変動する

1. 授業のねらい

- 1 キャッシュレス社会において、現金流通に関するコスト削減や業務効率化といったメリットがある一方で、個人情報の流出や詐欺に利用されるというデメリットがあることを理解することができる。
- 2 マネーストックの偏りによってインフレーションやデフレーションが起きやすいことから、日本銀行はマネーストックの動向を監視して、常に適量となるように「公開市場操作」で世の中にお金を供給していることを理解することができる。
- 3 インフレーションでは好景気となり物価が上がる一方、デフレーションでは不景気となるが、お金の価値が上がり、貯蓄をしている場合に利益を得られる場合があることを理解することができる。

2. 主な授業展開

学習活動と内容	● 生徒の活動
<p>1. キャッシュレス社会のメリット、デメリットについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● キャッシュレス化が進むことで、現金流通に関するコスト削減や業務効率化といったメリットがある一方、デジタル格差や個人情報の流出、詐欺への悪用といったデメリットがあることに気づく。 	<p style="text-align: right;">● MUFG</p> <p style="text-align: center;">キャッシュレス社会のメリット・デメリット</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">キャッシュレス化のメリット</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">社会的なコストの削減</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">企業や店舗間の業務効率化</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">外国人旅行者の消費が高まる</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">キャッシュレス化のデメリット</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">デジタル格差問題</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">個人情報提供問題</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">詐欺などに利用しやすい</p> </div> </div>
<p>2. マネーストック(世の中に出回っているお金の総量)について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 世の中に出回っているお金の総量が増えすぎると物価が急激に上がる現象(インフレーション)を引き起こし、逆にお金の量が減りすぎると物価が下がる現象(デフレーション)が起きることを理解する。 	<p style="text-align: right;">● MUFG</p> <p style="text-align: center;">社会全体でお金の量を調整する必要がある</p> <p style="text-align: center;">お金の量が増えすぎると急激なインフレ、デフレを引き起こしてしまいます</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">日本銀行がマネーストックの動向を監視して、常に適量となるように調整している</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">金融政策</p>
<p>3. 日本銀行が行っている金融政策について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本銀行はマネーストックの動向を監視して、常に適量となるように「公開市場操作」で世の中にお金を供給していることを理解する。 ● 	<p style="text-align: right;">● MUFG</p> <p style="text-align: center;">金融政策と信用創造</p> <p style="font-size: x-small;">公開市場操作など 日本銀行 10万円 9万円 8.1万円 7.29万円</p> <p style="font-size: x-small;">A銀行 預金 貸し出し 90万円 81万円 72.9万円</p> <p style="font-size: x-small;">B銀行 預金 貸し出し 90万円 81万円 72.9万円</p> <p style="font-size: x-small;">C銀行 預金 貸し出し 90万円 81万円 72.9万円</p> <p style="font-size: x-small;">D工場 90万円 81万円 72.9万円</p> <p style="font-size: x-small;">+日銀による金融政策</p> <p style="font-size: x-small;">+銀行による信用創造</p> <p style="font-size: x-small;">このように銀行の資金供給が増える</p>
<p>4. MUFG等の民間金融機関にはどのような役割をもった会社があるかを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お金を貸し出したり、安全に保管・管理したりする「銀行業」、お金を貸し出す「貸金業」、株式や債券の売買を行う「証券業」、クレジットカードの発行や代金の請求、立て替えを行う「クレジットカード業」、財産の運用や管理をする「信託業」といった業種があることを理解する。 	<p style="text-align: right;">● MUFG</p> <p style="text-align: center;">銀行業について</p> <p style="text-align: center;">銀行は、お金を安全に保管・管理する、お金を貸し出すなど、様々な役割・機能を持ちます</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">銀行の仕組み</p> <p style="font-size: x-small;">預金 貸し出し 貸付 預金者 銀行 借主</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">銀行の事業</p> <p style="font-size: x-small;">お金を安全に保管・管理する</p> <p style="font-size: x-small;">お金を貸し出す</p> <p style="font-size: x-small;">お金を決済する</p> </div> </div> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">個人</p>

学習活動と内容

● 生徒の活動

5. 自分が持っているスマホ・携帯電話は誰がどのようにして作ったのか考える。
- 企業1社だけでものづくりが完結することではなく、また、企業は利益の追求だけでなく、植樹活動など社会的責任（CSR）を果たす活動を行う企業が増えていることを理解する。

経済の仕組みを理解する 企業の目的と責任について 

利益ばかりでなく、社会へ与える影響に責任を持つようとする企業が増えています

CSR

Corporate
Social
Responsibility

企業の社会的責任



6. 「市場」について考える。
- 市場とは買い手と売り手が財やサービスを取引する場であり、株式等を取引する「証券市場」や金属や農産物等特定の商品取引をする「商品市場」等があることを理解する。

経済の仕組みを理解する 社会に存在する様々な“市場” 

市場は買い手と売り手が財やサービスを取り引きする場のことです



7. 経済成長について考える。
- GDP(国内総生産)で世界の国々がどのくらいの経済力をもっているかを表しており、日本は第3位に位置していることを理解する。

経済を理解する 経済成長とGDP 

世界の国々がどのくらいの経済力を持っているかを表すのがGDP(国内総生産)です

その国のGDPの推移を見ると
経済がどのくらい成長しているの分かる

	1位	2位	3位
GDPランキング (2023年)	アメリカ	中国	日本
GDP成長率ランキング (2023年)	ガイアナ	セントルシア	フィジー

8. 好景気と不景気について考える。
- 好景気になると私たちの暮らしはようになるか、また、不景気になると私たちの暮らしはようになるかをワークシートに書き、発表する。

経済を理解する 好景気と不景気 



 **好景気になると暮らしはどうなるでしょうか？**
ワークシートに記述してみてください



9. インフレーションとデフレーションのメリット・デメリットについて考える。
- インフレーションが起こって不利になる人と有利になる人をワークシートに書く。
 - インフレーションでは給料が増え好景気になるが物価が値上がりする現象が起きる。一方、デフレーションでは給料が減り不景気になるが、お金の価値が上がり、貯蓄をしている場合利益を得られるといった現象が起きることを理解する。

経済を理解する インフレーションとデフレーション 

インフレーション、デフレーションはどちらもメリット・デメリットを持ち合わせています

	インフレーション(インフレ)	デフレーション(デフレ)
景観	・物価が上がり続けて、お金の価値が下がり続けること	・物価が下がり続けて、お金の価値が上がり続けることです
企業	・企業は売上が増えるため利益の改善が見込まれ、従業員の給料も上がるなど、社会にお金が循環して繁栄はしやすくなる	・お金の価値が上がるので、貯蓄している人にはメリットがある
消費者	・買えば値を買いためらう200万円貯蓄した人が、インフレで300万円に値上がりし買えなくなる、といったことが起こる	・企業は売上が上がり、従業員の給料を減らすなど、社会にお金が回らなくなり、景気が悪化する

消費者として自立する・金融トラブルを防ぐ

1. 授業のねらい

- 1 消費者を守る「消費者契約法」や、消費者には様々な権利がある一方で、一定の責任を負っていることを理解することができる。
- 2 クレジットカードやローンを利用する際に生じやすい問題の対処方法を理解することができる。
- 3 インターネット上では様々な金融トラブルが発生しており、巻き込まれないよう注意が必要であり、万一巻き込まれた場合には相談できる窓口があることを理解することができる。
- 4 ローンで分割払いをする場合には、利息や支払い回数によって支払う総額が変わることを理解することができる。

2. 主な授業展開

学習活動と内容

● 生徒の活動

1. 消費者契約法について考える。

- クイズ「契約を取り消すことができる?できない?」に取り組みながら、「消費者契約法」が消費者を守ってくれるものであることに気づく。

消費者として自立する 消費者契約法とは 

契約トラブルから消費者を守るために定められたのが「消費者契約法」

消費者契約法が定める3つの事項

-  不当な勧誘により締結してしまった契約は後から「取消し」することができる
-  消費者の利益を不当に害する契約条項は「無効」となる
-  事業者に対する「努力義務」を定めている

2. 消費者の8つの権利と5つの責任について考える。

- 消費者には「安全が確保される権利」や「被害の救済を受けられる権利」といった8つの権利があるとともに「商品や価格の情報に疑問や関心をもつ責任」や「自分の消費行動が社会に与える影響を自覚する責任」といった5つの責任があることを理解する。

消費者として自立する 消費者の8つの権利と5つの責任 

消費者の8つの権利

- ① 安全が確保される権利 健康や命にかかわる危険な商品によって消費者が危害を受けることがないよう保護される
- ② 選択する権利 自分の意思で自由に商品やサービスの選択できる機会が保障される
- ③ 知らされる権利 商品を購入するときに、正しい価格やお店の人が適切な情報を伝えることができる
- ④ 意見が反映される権利 企業や消費生活センターなどに意見を申し出たときに、意見が反映されて対応がとられる
- ⑤ 消費者教育を受けられる権利 消費者や商品に関心があるような消費者を育てるため、学校や家庭で学ぶ
- ⑥ 被害の救済を受けられる権利 被害を受けて企業や消費生活センターなどに相談したときに、被害を回復するために対応策がとられる
- ⑦ 基本的な需要が満たされる権利 生活に必要なものが保障される
- ⑧ 健全な環境が確保される権利 健全な生活環境の中で働き、生活する

3. 「消費者信用」について考える。

- 「消費者信用」とは消費者の信用に基づいた取引のことであり、後払いで商品を購入する「クレジット」やお金を借り入れる「ローン」は信用がなければ、「三者間契約」(クレジットカード利用者・クレジットカード会社・お店の三者)が成立しないことに気づく。

金融トラブルを防ぐ クレジットカードは三者間契約 

クレジットカードを使うとき、カード利用者、クレジットカード会社、お店の間で「三者間契約」が成立しています



4. クレジットカードやローンを利用することで生じやすい問題やその対処方法を考える。

- お金の使いすぎや必要なタイミングでお金が用意できないといった問題を回避するためには、「無理のない支払い計画を立てる」「手数料や支払い期間・方式などの条件を比較検討する」「クレジットやローンの申し込み時や契約時の書類、利用明細、支払い等の書類を保管する」ことが必要であることを理解する。

金融トラブルを防ぐ 問題を回避するためのポイント 

- ポイント①** クレジットやローンを利用するときは収入や他の支出も考えた上で、無理のない支払い計画を立てる 
- ポイント②** クレジットやローンを申し込むときは、手数料や支払い期間・方式などの条件を比較・検討する 
- ポイント③** 申込時・契約時の書類や、商品購入時にもらえる利用明細は支払いが完了するまで必ず保管する 

学習活動と内容

● 生徒の活動

5. インターネット上での金融トラブルについて考える。

- 「定期購入」の契約をするとすぐに解約できない場合があることや、「ネガティブオプション」というインターネット通販で購入した覚えのない商品が一方的に送られ、代引きで支払って中を見ると購入していない商品が入っているというトラブルがあることを理解する。



6. 「自己破産」について考える。

- 「自己破産」は多重債務により生活破綻した際の救済措置だが、ローン契約ができなくなることや、車や家などの資産を持たなくなる等デメリットがあることを理解する。



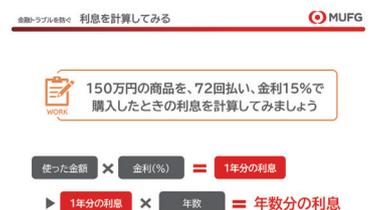
7. ローンの種類と金利について考える。

- 住宅ローン、教育ローン、カードローン、フリーローンなど、様々なローンがあり、それぞれの性質によって金利に違いがあることを理解する。



8. 分割払いの利息について考える。

- 分割払いを利用する場合、利息が発生し、その金額や支払い回数によって総支払額が変わることを理解する。



9. 「金融トラブル」にあったときにどのように対処すればよいかを考える。

- 家族に相談しづらい場合、消費者庁の「消費者ホットライン」188に電話して、ひとりで悩まずにすぐ相談できることに気づく。



サステナブルを考える日

1. 授業のねらい

- 1 SDGsの17の目標内容を理解するとともに、SDGsの観点で身の回りの困りごとを発見したり、解決方法を考えたりすることができる。
- 2 サステナブルな社会とはどのような社会かを理解するとともに、自分自身や日本を含めた各国の政府や企業がサステナブルな取り組みをしていることに気づくことができる。

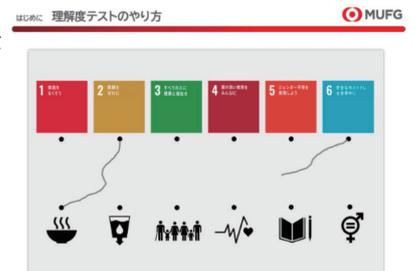
2. 主な授業展開

学習活動と内容

● 生徒の活動

1. 2030年までに達成することを目指している17の目標であるSDGsの図に示された目標がどのような内容かを考える。

- SDGsの17の目標の文章とアイコンを結びつけるワークを行う。



2. ワークをもとにして、SDGsの17の目標を確認する。

- ①貧困をなくす目標、②飢餓をゼロにする目標、③全ての人に健康と福祉を提供する目標、④質の高い教育を提供する目標、⑤ジェンダー平等を実現する目標、⑥安全な水とトイレを提供する目標、⑦全ての人々が環境にやさしいエネルギーを利用できる目標、⑧全ての人々が良い仕事を見つけ、経済が持続的に成長する社会を目指す目標、⑨産業と技術革新の基盤をつくる目標、⑩人や国の不平等をなくす目標、⑪住み続けられるまちづくりを行う目標、⑫つくる責任・使う責任に関する目標、⑬気候変動に対する対策を講じる目標、⑭海の豊かさを守る目標、⑮陸の豊かさを守る目標、⑯平和と公正な社会で生活できるようにする目標、⑰すべての国や人々が協力し合う目標といった17の目標について理解する。



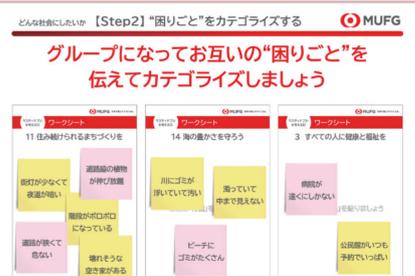
3. SDGsの視点で、身近な社会をどのような社会にしたいかを考える。

- 身の回りにある困りごとを10個以上付箋に書き出す。



4. 各々が付箋に書いた困りごとをグループで話し合って共有する。

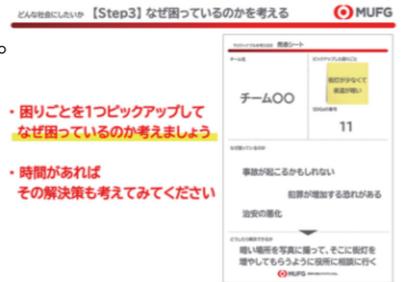
- グループでお互いの困りごとを伝え、それぞれをSDGsの17の項目にカテゴライズする。



学習活動と内容

● 生徒の活動

5. グループで共有した困りごとを取り上げ、困っている理由やその解決策を考える。
- 困りごとの中から1つピックアップして、なぜ困っているのかを話し合い、それをもとに解決するためのアイデアを出し合う。



6. SDGsの「S」が意味しているサステナブルな社会について考える。
- サステナブルな社会とは、社会全体が地球の資源を適切に管理し、環境への負荷を最小限に抑えながら経済を発展させていく社会であることを理解し、日常的に行っているサステナブルな行動(ごみを分別する、使っていない部屋の電気を消す等)を確認する。



7. 世界中の政府や企業がサステナブルな取り組みをしていることを理解する。
- 日本では醤油を作るときに出る「醤油かす」を再利用して牛や豚などの飼料にしたり社員の方の名刺を作ったりする取り組みが行われていることや、海外ではスウェーデンの家具メーカーの製品の60%に再生可能な素材が利用されていること等を理解する。
 - MUFGが取り組んでいるサステナブルな取り組みについて理解する。

